
—資源はめぐる—

五十嵐食品残渣循環型リサイクルシステムのご案内



I G A R A S H I

資源リサイクルセンター

焼却からリサイクルへ

－生ごみ、有機性廃棄物を資源にします－

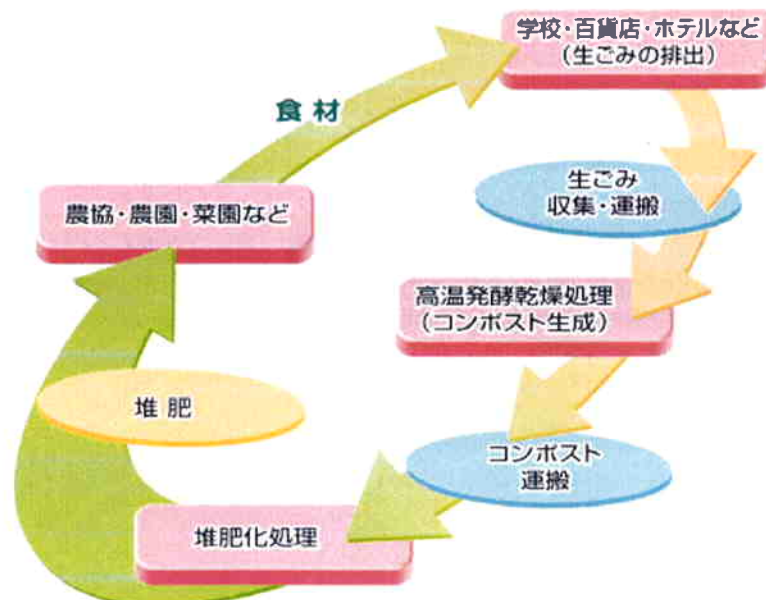
わが国で排出されるごみ総量は、年間で一般廃棄物が5000万トン、産業廃棄物は、4億トンという膨大な量です。このうち2000万トンの生ごみが毎年焼却や埋め立て処分されています。

生ごみは食物のうち私たちが「ただ食べなかった部分」であり、私たちの大切な資源です。私たちはこの資源を、わざわざ燃料を使って焼却し環境を汚染しているのです。

こうした状況の中で2001年4月に食品リサイクル法が施行され、日量400kg以上の排出事業者は、5年後には最低20%の減量化ないしは再資源化を義務づけられました。

当リサイクルセンターは今までごみとして処分されていた食品残渣や食べ残しごみを内城菌を使って、土壌改良剤に資源化し、循環型社会づくりに貢献します。

●生ゴミ循環型リサイクルフロー



施設概要



◇ 株式会社五十嵐商会

資源 *RISAIKURU* センター

- ・ 所在地：東京都北区浮間 4-21-7
- ・ 〒115-0051
- ・ 電話：03-3969-3775
- ・ FAX：03-3969-9233
- ・ 本社：東京都練馬区三原台 2-1-27

■ 敷地面積	290 坪 (工業地域)
建 屋 (含 倉庫)	169 坪
倉庫 (保冷库含む)	50 坪
■ 生ごみ一次処理機 1 トン型	3 機 (高温・高速型)
脱臭機	3 機 (ゼオライト、活性炭併用タイプ 及び次亜塩素酸ナトリウムと塩酸を希釈)
自動投入機	3 機
搬出用ベルトコンベア	1 式
カート計量器	1 台 (容器計量/生ごみ用)
トンパック計量機	1 台
篩機ラジエター 各 1 式	1 台
破碎機	1 台
搬出梱包設備 (ホッパ - 含む)	1 台 (攪拌機)
ラジエター	3 台
保冷库	1 機
貯水槽 (10 t 入)	1 式
受水層 (3 t 入)	1 式
容器自動洗浄機	1 式 (5 連式)
コンベヤ	1 式
大型グリストラップ	2 機
■ 車両	
回収車両 (保冷型 2 t)	3 両
フォークリフト	1 両
セミキャブ	1 両



雨水利用容器洗浄システム



容器冷凍保管庫

特 徴

- 高温高速発酵処理により短時間で処理可能。
クーリング時間を加算しても、1日 1.8 回転の処理が可能
- 生ごみの「水切り」を特に必要としない
- 内城菌を使用するので、一次処理品については二次処理品に近い価格で肥料会社・農家・養鶏場・及びゴルフ場等に引取り
- 工場操業環境を、悪臭防止法、東京都環境確保条例規制値を順守（敷地境界線で臭気指数 1.3 以下）

装置と生産の概要

- ・ 処理能力：最大 5.4 トン/日（認可は 4.9 トン/日）
- ・ 操業開始：2002/2/12
- ・ 営業種目：一般廃棄物処理業
- ・ 高温・高速醗酵処理機（3 機）正和薬品社製
- ・ 名称：KAN システムー 1 0 0 0
- ・ 概要：処理原料（学校給食等の残渣）に「水分調整材（米ぬか）を添加」し内城 A 菌（土壌菌）を混合して高温高速で醗酵・乾燥させた一次処理（リグアイブ練馬＝内城 B 菌）の製造
- ①水分調整材 ・ 米ぬかを使用（含水率 12% 以下）
内城 A 菌の健全な醗酵に最適なスタート時の含水率が約 60% 以下にするため、運転開始時に適量（生ごみ 700 ㌦ 対 米ぬか 300 ㌦）投入
- ②内城 A 菌 ・ 総量に対し 1/10000 を投入

- 処理能力：
 - ・ 原料投入容積 1800 ㍓（調整材の投入量を含む）/1 バッチ
 - ・ 含水率 60%～80% の生ごみ
 - ・ 生成品 含水率 12% 以下 1.8 回転/24 h
 - ・ 処理時間 約 13～15/h（夏季 冬季のクーリング時間により若干差）
 - ・ 最大処理能力 1 トン(1 機)×1.8 回転(24 h)× 3 機＝ 約 5.4 トン
- 熱 源
 - ・ 都市ガス（処理槽内 最高温度 270℃～280℃位）